

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VO1.35 —

— ごあいさつ —



院長 吉田 徹

3月を迎え、桜の知らせが待ち遠しい季節になってきました。日頃は当院との連携で中部医療圏の命と健康を守って頂いている皆様に心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が日本に上陸してから3年が経過し、第8波は全国的な医療逼迫をもたらしましたが、収束の兆しがようやくみえてきました。今後の新たな感染拡大にも注意は必要ですが、政府から5月に5類感染症へ格下げされる予定も発表され、WITH コロナの時代に向かって新たな舵を切っていく時期が確実に近づいてきました。

今後の診療に関しては、5類感染症としてより多くの医療機関が日常の感染症として対応して頂くことや、入院治療が必要となった症例は、急性期治療が終了後、在宅への退院に加えて、退院支援の元に連携病院や施設等へ円滑に受け入れて頂ける流れの再構築が必要です。昨年総務省から出された改正ガイドラインでも「病院間の役割分担と連携強化」が強調されており、コロナ対応の経験から医療と介護に関わる病院・施設間の日常連携が、これまで以上により強固なものとなっていくことが期待されます。

コロナ禍によって顔を合わせる機会が極端に減少し、地域連携の推進にブレーキがかかった状況が続きました。今後は対面での打ち合わせの再開に加えて、コロナ対応で得たウェブ会議の手法等の積極的な利用で、周囲の感染状況に関わらず意思疎通が図れるシステム作りを実現していきたいと考えております。「顔が見える関係」を再構築することにより、施設間の敷居を低くしてスタッフ同士の気持ちの「繋がり」も作っていききたいと思います。

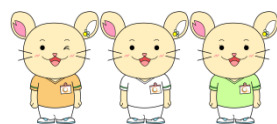
また地域の皆さんと直接お話しする機会も減少してしまいましたので、出前講座や市民公開講座その企画も従来通りの開催計画に戻していきたいと思っております。地域の皆さんに、病院の現状や課題等も理解して頂くと共に、治療だけでなく病気の予防にも関心と知識を持っていただき、「病気になりにくい社会」を行政の皆さんとともに作っていく努力もしたいと思っております。

コロナ感染拡大によって検査や手術の延期をお願いして不安な時期を過ごされた方々もいらっしゃると思いますので、今後はお待ち頂いた検査・治療にできる限り対応して参ります。

これからも地域の皆さんから信頼され地域社会に貢献できる病院を目指していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

～～ 岩手県立中部病院 理念と基本方針 ～～

- 理 念 心のかよう患者中心の医療を実践し、地域社会に貢献する。
- 基本方針
1. 安全で質の高い医療を提供する。
 2. 医療・保健・福祉施設、行政との協働を推進する。
 3. 人間性豊かな医療人を育成する。
 4. 明るく働き甲斐のある職場をつくる。
 5. 健全な病院経営に努める。



プレホスピタル 12 誘導心電図伝送のご紹介

～ハートチームはプレホスピタルから～



はじめに

急性心筋梗塞は、がん、脳卒中と並んで日本における3大死因として有名です。心筋梗塞は心臓の血管(冠動脈)が急に詰まってしまう病気です。治療の進歩に伴い死亡率は改善してきていますがそれでも約30%の方は亡くなってしまいます。すぐにカテーテル検査を行い血管の詰まりを同定しカテーテル治療で血流を再開させます。

プレホスピタル 12 誘導心電図伝送とは

急性心筋梗塞は少しでも早く治療を行うことで予後を大きく改善させることができます。この治療までの時間を大幅に短縮させる方法が『プレホスピタル 12 誘導心電図伝送』です。

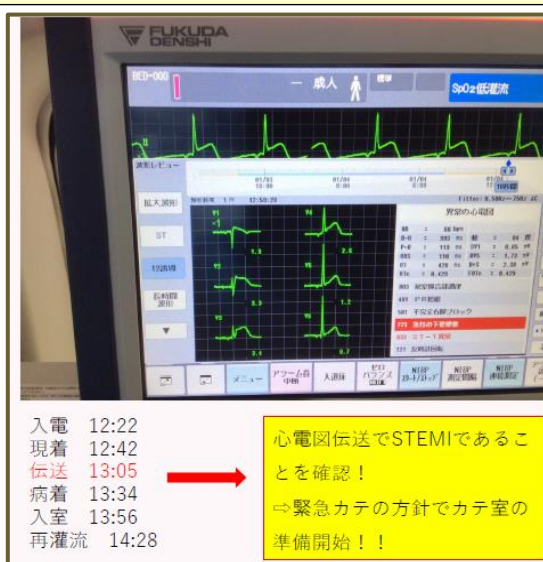
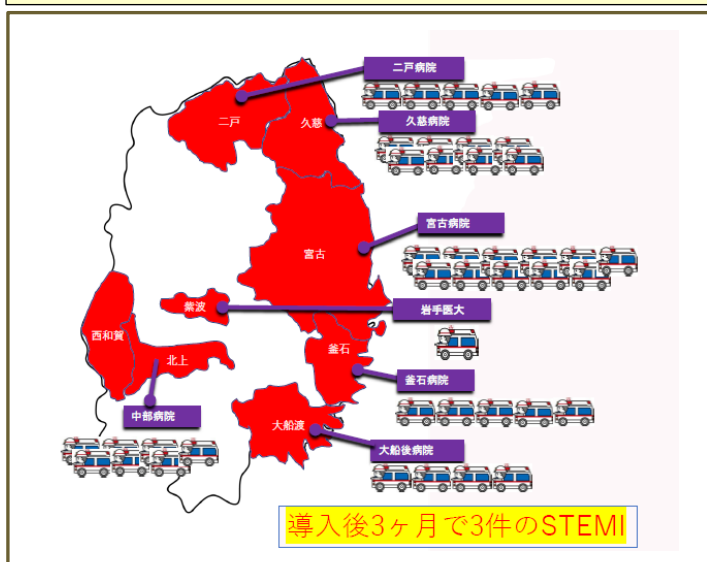
救急現場や救急車内で“12 誘導心電図”を記録して病院へ“伝送”することで患者が“病院到着する前(=プレホスピタル)”に心電図診断が可能になります。急性心筋梗塞の心電図であればこの時点で心臓カテーテル検査室を立ち上げるためスタッフの招集や準備が早くなり、患者が病院到着して10分程度で心臓カテーテル検査室に移動することが可能となります。

岩手県沿岸、県北、紫波には導入されていますが残念ながら中部医療圏では未導入でした。中部医療圏は盛岡に次いで緊急治療を必要とする患者が多くこのシステムは重要であると考え、2022年11月から北上地区消防組合の救急車7台で運用を開始しました。

運用開始し約3ヶ月で3例の急性心筋梗塞が搬送されどの症例も早急な治療が可能でした。このうち2例は病院到着前や到着後に心肺停止に陥りましたが、心電図伝送で病院前診断が可能であったため循環器内科スタッフが事前に待機していたことから迅速な対応が可能であり救命できました。

このように“地域住民の命を守ること”に直結するシステムであり、北上地区での更なる整備や花巻市や遠野市など中部病院へ搬送される地域にはこのシステムを導入したいと考えています。このシステムにおいて大切なことは病院スタッフだけでなく、救急隊が現場に到着し心電図伝送した時点からすでに診療がスタートしているという点です。まさに“ハートチームはプレホスピタルから”なのです。

2022年11月北上地区消防組合と中部病院で12誘導心電図伝送を開始しました！



新任医師紹介

※令和5年10月以降に着任した医師をご紹介します。



氏名	佐藤 剛 (さとう つよし)
診療科・職名	血液内科・医師
学会資格等	日本内科学会、日本血液学会、日本骨髄腫学会
ひとこと	未熟者ではありますが、よろしくお願いいたします。



氏名	田付 駿介 (たつき しゅんすけ)
診療科・職名	産婦人科・医師
学会資格等	日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会
ひとこと	よろしくお願いいたします。

令和4年度 市民公開講座（北上） 2022.11.10（木）「さくらホール」

地域の住民の皆様へ、医療や健康に関心を持っていただくとともに、地域に開かれた親しみやすい病院となることを目的に、令和4年11月10日（木）北上市の「さくらホール」を会場に、令和2年度から2年ぶり2回目の市民公開講座を開催いたしました。

今回は、吉田徹 院長より「中部医療圏の現状と課題」、富樫弘文 第2糖尿病・代謝内科長より「糖尿病について」、佐藤広菜 管理栄養士より「食事療法について」を講演いたしました。

今回は、岩手中部保健医療圏を中心に、他の地域も含め、約100名の方々にご参加いただきました。

今後においても、定期的に公開講座を開催し、地域の皆様への情報発信を行っていききたいと思います。



【治療と仕事の両立支援相談窓口のご案内】

当院では、病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある患者さんが、仕事を理由として治療機会を逃すことなく、また、治療を理由として仕事の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら生き生きと働き続けられるよう患者さんを支援することを目的として、「治療と仕事の両立支援相談窓口」を設置しております。

患者さんやご家族の方からのご相談のみならず、地域の医療機関の皆様や、医療福祉関係機関の皆様からのご相談、お問い合わせにも対応させていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。

【相談窓口】

- 相談日 月曜日～金曜日（祝祭日除く）
- 時間 9時～17時
- 担当 医療ソーシャルワーカー
- 受付

当院1階「えぐなるブラザ（患者・家族支援センター）」

【出張相談窓口】※予約制

また、毎月第3水曜日は「岩手産業保健総合支援センター」の両立支援促進員が来院し、患者さん等からの相談に無料で対応しておりますので、ご相談したい場合は、上記担当までご連絡ください。

- 相談日時：毎月第3水曜日 10時から12時30分
- 相談費用：無料

例えば、こんなときに…



- 治療と仕事を続けられるか不安
- 今後の働き方について、誰に相談したらいいかわからない
- 職場の理解・協力が得られるか不安
- 治療に合わせた勤務や休暇の取得ができるか
- 仕事を休むと収入が減少する。何か利用できる制度はないか知っておきたい
- 医師からの指示を会社にどのように伝えるといいかわからない

体制等変更のお知らせ

【「紹介センター」の設置について】



【令和5年4月開設】『紹介センター』を開設いたします

当院では、地域医療福祉連携室の体制強化を図るため、**患者紹介・逆紹介を専門に行う部署**として、**令和5年4月より地域医療福祉連携室に「紹介センター」を設置**いたします。

これに伴い、**令和5年4月以降、患者紹介（当日紹介含む）・逆紹介に関するお問い合わせにつきましては「紹介センター」へご連絡**いただくようお願いいたします。

開設当初は事務処理に手間取り、ご迷惑をお掛けする可能性があります。できるだけスムーズな移行に努めたいと思います。ご理解の程よろしくをお願いいたします。

【「紹介センター」（直通）】（※現在の「地域医療福祉連携室」直通連絡先と同じです）

〈電話〉0197-71-1518

〈FAX〉0197-71-1881

【お問い合わせいただく事例・問い合わせ先】

〈紹介センター〉

○ **患者紹介・逆紹介に関すること全般**

（当日紹介・受診日・転院日の調整のほか、診療情報提供書等の送受に関すること）

〈地域医療福祉連携室〉

○ **その他地域連携に関すること全般**

【「診療申込の受付時間」について】（平日日中のみの受付とさせていただきます）

当院では、現在、一定の診療科については土曜日においても診療申込を受付けておりますが、業務効率化の観点から、**令和5年4月より、診療申込みの受け付けを平日の日中（8時30分～17時）のみ**とさせていただきます。

ご不便をお掛けすることとなり申し訳ありませんが、ご理解の程よろしくをお願いいたします。

なお、「いわて中部ネット」加入医療機関等の皆様については、引き続き「**いわて中部ネット**」を利用した予約受付（24時間365日）は可能ですので、ご利用ください。

地域医療福祉連携室からのお願い ◇当院は予約制です◇

基本的に外来診療は予約制とさせていただきます。

患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともあります。

お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前に予約のお申込をいただくよう、ご協力をお願いいたします。

なお、**当日の患者紹介の際は、紹介先の診療科医師に電話にてご一報**いただければ、よりスムーズに患者さんを受け入れることができますので、ご協力をお願いいたします。



発行：岩手県立中部病院
地域医療福祉連携室

〒024-8507

岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地

TEL 0197-71-1511（代表）

0197-71-1518（連携室直通）

FAX 0197-71-1881（連携室専用）

URL <http://www.chubu-hp.com/>



2023年2月

